

領域	専門分野	開講時期	1年																				
科目名 (单元名)	地域・在宅看護概論	単位数 (時間数)	1単位(15時間)																				
講師 (所属・職位等・実務経験)	①大西 洋世 (別府医療センター附属大分中央看護学校・専任教員・看護師22年)																						
<p><科目目標></p> <p>地域における暮らしや地域で生活している対象と家族の特徴を理解する。さらに法制度に基づき、地域で生活する対象と家族を支える看護について理解する。</p>																							
<p><内容></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>授業内容</th> <th>授業方法</th> <th>担当講師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td> I. 地域における暮らしと地域で生活する人々 1. 地域における暮らしと生活環境 1) 地域での暮らし、社会の構造 2) 地域の特性による暮らしの多様性 3) 多様化する家族のかたち 2. 地域で生活する人々と健康課題 1) 個人と家族の生活 2) 生活習慣や生活環境の変化と健康への影響 (1) 経済成長と生活の変化、健康への影響 (2) 災害、感染症と生活の変化、健康への影響 (3) 生活習慣や労働の変化と健康への影響 3) 少子高齢化と介護問題、多死社会の課題 </td> <td>講義</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td> II. 地域での暮らしと健康を支える地域包括ケアシステム 1. 地域包括ケアシステムとは 1) 地域包括ケアが求められる社会背景 2) 地域包括ケアシステムの姿： 概念、機能、目的、構成要素 3) 自助、互助、共助、公助の支え 4) 地域生活を支援するサービス体制と提供機関、ケアチーム 5) 地域包括支援センターの機能、包括的支援事業 6) 地域共生社会の推進 </td> <td>講義</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td> 7) 関係機関、関係職種との連携、チームでの協働 (1) 関係機関 ①医療施設 ②介護保険施設 ③福祉施設 ④高齢者施設 ⑤行政機関、保健機関 ⑥その他：社会復帰施設等 (2) 関係職種 ①保健・医療・福祉の関係職種 ②行政の職種 ③地域住民 (3) 関係機関・関係職種との連携の必要性、チームでの協働、 看護者の役割 ①関係機関・職種との連絡・調整 ②ケアチームでの協働 ③ケアカンファレンス、地域ケア会議 ④地域での暮らしと健康を支えるネットワークづくり ⑤地域での連携・協働における看護者の役割 </td> <td>講義</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td> III. 地域で生活する人々とその家族を支える社会資源と社会保障 制度、法的枠組みとの関連 1. 社会資源とは、目的 1) 社会資源の分類 (1) 費用負担区分からみた自助、公助、互助、共助の役割 </td> <td>講義</td> <td>①</td> </tr> </tbody> </table>				回	授業内容	授業方法	担当講師	1	I. 地域における暮らしと地域で生活する人々 1. 地域における暮らしと生活環境 1) 地域での暮らし、社会の構造 2) 地域の特性による暮らしの多様性 3) 多様化する家族のかたち 2. 地域で生活する人々と健康課題 1) 個人と家族の生活 2) 生活習慣や生活環境の変化と健康への影響 (1) 経済成長と生活の変化、健康への影響 (2) 災害、感染症と生活の変化、健康への影響 (3) 生活習慣や労働の変化と健康への影響 3) 少子高齢化と介護問題、多死社会の課題	講義	①	2	II. 地域での暮らしと健康を支える地域包括ケアシステム 1. 地域包括ケアシステムとは 1) 地域包括ケアが求められる社会背景 2) 地域包括ケアシステムの姿： 概念、機能、目的、構成要素 3) 自助、互助、共助、公助の支え 4) 地域生活を支援するサービス体制と提供機関、ケアチーム 5) 地域包括支援センターの機能、包括的支援事業 6) 地域共生社会の推進	講義	①	3	7) 関係機関、関係職種との連携、チームでの協働 (1) 関係機関 ①医療施設 ②介護保険施設 ③福祉施設 ④高齢者施設 ⑤行政機関、保健機関 ⑥その他：社会復帰施設等 (2) 関係職種 ①保健・医療・福祉の関係職種 ②行政の職種 ③地域住民 (3) 関係機関・関係職種との連携の必要性、チームでの協働、 看護者の役割 ①関係機関・職種との連絡・調整 ②ケアチームでの協働 ③ケアカンファレンス、地域ケア会議 ④地域での暮らしと健康を支えるネットワークづくり ⑤地域での連携・協働における看護者の役割	講義	①	4	III. 地域で生活する人々とその家族を支える社会資源と社会保障 制度、法的枠組みとの関連 1. 社会資源とは、目的 1) 社会資源の分類 (1) 費用負担区分からみた自助、公助、互助、共助の役割	講義	①
回	授業内容	授業方法	担当講師																				
1	I. 地域における暮らしと地域で生活する人々 1. 地域における暮らしと生活環境 1) 地域での暮らし、社会の構造 2) 地域の特性による暮らしの多様性 3) 多様化する家族のかたち 2. 地域で生活する人々と健康課題 1) 個人と家族の生活 2) 生活習慣や生活環境の変化と健康への影響 (1) 経済成長と生活の変化、健康への影響 (2) 災害、感染症と生活の変化、健康への影響 (3) 生活習慣や労働の変化と健康への影響 3) 少子高齢化と介護問題、多死社会の課題	講義	①																				
2	II. 地域での暮らしと健康を支える地域包括ケアシステム 1. 地域包括ケアシステムとは 1) 地域包括ケアが求められる社会背景 2) 地域包括ケアシステムの姿： 概念、機能、目的、構成要素 3) 自助、互助、共助、公助の支え 4) 地域生活を支援するサービス体制と提供機関、ケアチーム 5) 地域包括支援センターの機能、包括的支援事業 6) 地域共生社会の推進	講義	①																				
3	7) 関係機関、関係職種との連携、チームでの協働 (1) 関係機関 ①医療施設 ②介護保険施設 ③福祉施設 ④高齢者施設 ⑤行政機関、保健機関 ⑥その他：社会復帰施設等 (2) 関係職種 ①保健・医療・福祉の関係職種 ②行政の職種 ③地域住民 (3) 関係機関・関係職種との連携の必要性、チームでの協働、 看護者の役割 ①関係機関・職種との連絡・調整 ②ケアチームでの協働 ③ケアカンファレンス、地域ケア会議 ④地域での暮らしと健康を支えるネットワークづくり ⑤地域での連携・協働における看護者の役割	講義	①																				
4	III. 地域で生活する人々とその家族を支える社会資源と社会保障 制度、法的枠組みとの関連 1. 社会資源とは、目的 1) 社会資源の分類 (1) 費用負担区分からみた自助、公助、互助、共助の役割	講義	①																				

回	授業内容	授業方法	担当講師
4	(2) フォーマルサービス、インフォーマルサービス 2. 社会資源の活用 1) 活用のプロセス 2) 多様な生活用具と活用 (1) 福祉用具、補装具、日常生活用具の活用の実際と法的枠組み (2) 主な生活用具とその特徴・注意点 (3) 適切な用具の選択 3) 住宅環境の実際 (1) 在宅改修に必要な ADL と IADL の活動分析 (2) 住宅環境のアセスメントと住宅改修の必要性・目的 (3) 住宅改修のポイント (4) 安全で快適な生活を送れるための住宅改修の実際	講義	①
5	4) 地域での療養生活を支える法制度 (1) 介護保険法 (介護保険制度) ① 保険者と被保険者 ② 給付対象となる状態と介護保険法で定められる特定疾病 ③ 給付の内容と手続き ④ 介護保険のサービス利用の流れ (2) ライフステージに応じた法制度 児童福祉法、母子保健法、老人福祉法等 (3) 高齢者保健福祉施策：独居高齢者見守りサービス等 (4) 障害者総合支援法 (5) 難病療養者に関する制度 (難病法)：医療費の公費補助、保健医療の充実・連携、難病患者等居宅生活支援事業 (6) 医療法 ① 医療保険制度 (国民皆保険体制、保険制度の体系) ② 医療給付：医療給付内容、医療費一部負担金の割合、入院時生活療養費、高額療養費制度 (7) 健康増進法 (8) 感染症対策 (9) がん対策基本法	講義	①
6	IV. 地域・在宅看護の変遷と位置づけ 1. 社会の変遷と地域・在宅看護の位置づけ 2. 地域・在宅看護の目的・機能 1) 地域を拠点とする人々の暮らしと健康の支援 2) 地域包括ケアシステムと看護活動 3. 地域・在宅看護の概念 1) ICF の視点で生活を支えるということ 2) 個別性の高い看護 3) QOL の維持・向上 4) 生活および健康の予測と予防 5) ケア・支援体制の充実 6) 看護活動を構成する分野と役割 4. 地域・在宅看護の対象 1) 個人、家族、集団、地域 2) すべての発達段階とあらゆる健康段階にある人々 5. 地域・在宅看護活動の場：行政機関、医療機関、保健機関、福祉機関、居宅、産業機関、教育機関、国際機関	講義	①
6	6. 地域での療養生活の成立条件 1) 対象とその家族の心身状態の安定 2) 地域での療養生活の意向 3) 家族の介護力 4) 療養環境の確保と地域包括ケアシステムの整備	講義	①

回	授業内容	授業方法	担当講師
6	5) ニーズに応じた保健・医療・福祉を統合したケアマネジメント 6) 経済的基盤	講義	①
7	V. 地域・在宅看護活動の特徴 1. 地域全体の生活水準の維持および健康への支援 1) 疾病・介護予防 2) 行政による地域住民の健康危機管理 2. 個別健康支援 1) 家庭訪問 2) 継続看護 3) 訪問看護 3. 地域ケアシステム及びICTの活用 4. 地域で療養生活を送っている対象の家族への支援 5. 地域における看護活動での権利保障 1) 自己決定の支援 2) 権利擁護、成年後見制度 3) 虐待の防止 4) 倫理的課題	講義	①
8	6. 訪問看護と訪問看護制度 1) 訪問看護の特徴 (1) 訪問看護とは (2) 訪問看護の制度と現状 (3) 訪問看護に求められる看護の視点 ① 生活を中心とした看護の視点 ② 保健医療福祉を統合したケアマネジメントの視点 ③ 療養者と家族のQOLの確保 2) 訪問看護ステーションの機能 (1) 訪問看護ステーションの設置・運営 (2) 従事者、対象者 (3) サービス内容 (4) サービス提供の流れ ① 介護保険による訪問看護 ② 医療保険による訪問看護 (5) 利用料 ① 訪問看護サービス費 3) 訪問看護の実際 (1) 日常生活の支援 (2) 制度や地域の社会資源の活用 (3) 健康管理のための地域の病院、施設、保健所、関係機関 などや多職種との連携 ① 地域連携バスの理解での継続療養 ② 外来・地域連携部門との連携 ③ 主治医との連携 ④ 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士 との連携 ⑤ 栄養士・管理栄養士との連携 ⑥ 薬剤師との 連携 ⑦ 医療ソーシャルワーカーとの連携 ⑧ 介護支援 専門員(ケアマネジャー)との連携 ⑨ 介護福祉士との連 携 (4) 技術の工夫や研究開発 4) 訪問看護の姿勢と責務 (1) 療養者と家族の主体性の尊重、信頼関係の構築、個人情報 の保護	講義	①

授業の進め方

地域における暮らしや地域で生活している対象と家族の特徴、地域で生活する人々が住み慣れた地域で生活続けるための社会システムを理解するために、社会学で学んだ社会構造や構成、現代社会の諸問題、看護学概論で学んだ看護の対象を想起・活用し、保健・医療・福祉における自身の身近な事例を取り上げて学習を進める。地域・在宅看護活動の学習では、看護活動の一つである訪問看護を主軸に、地域で生活する対象と家族の生活と健康を支える看護活動の事例を取り上げて、看護活動の特徴、法的根拠、関係機関・関係職種と連携・協働も交えて教授する。

テキスト

1. 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 1 地域在宅看護の基盤 (医学書院) : ①
2. 国民衛生の動向 2021/2022 年版 (厚生統計協会) : ①

評価方法

筆記試験、授業参加状況により評価する。